

1. 経済動向

記事提供：一般財団法人 建設物価調査会 北陸支部

新潟県内の景況について

新潟県鉱工業指数をみると、令和7年6月の生産指数は前月比0.6%減の98.6で、2カ月ぶりの低下となった。業種別にみると、金属製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、食料品工業等7業種が低下し、化学工業、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業等8業種が上昇した。出荷指数は99.1で、こちらも前月比0.4%の低下となった。これは、鉄鋼業、食料品工業、パルプ・紙・紙加工品工業等6業種が低下し、化学工業、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業等9業種が上昇したことによる。在庫指数は87.9で前月比2.7%の低下となった。これは、電気・情報通信機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業、非鉄金属工業等8業種が低下し、その他工業、プラスチック製品工業、食料品工業等5業種が上昇したことによる。

令和7年6月の有効求人倍率は1.41倍（全国平均1.22倍）で前月比0.02ポイントの低下となった。新規求人倍率は2.16倍で、こちらは0.07ポイントの上昇となった。主要産業別にみると、学術研究・専門・技術サービス業、生活関連サービス業等が上昇し、運輸業・郵便業、製造業、宿泊業、飲食サービス業、医療・福祉等が低下した。雇用情勢は改善の動きにやや足踏み感があり、引き続き、求人・求職の動きに留意しつつ、物価の高騰等が雇用に与える影響にも十分注意する必要がある。

令和7年6月の新潟市消費者物価指数は、総合で110.5となり前月比0.4%の低下となり、前年同月比では3.1%の上昇となっている。前月からの動きをみると「保険医療」が0.2%上昇したもの、「食料」が0.3%低下した結果、総合で前月比0.4%の低下となった。

富山県内の景況について

富山県鉱工業指数をみると、令和7年6月の生産指数は97.3で前月比1.9%の低下となり、2カ月連続で低下した。これは13業種中、化学工業、パルプ・紙・紙加工品工業、非鉄金属工業等の6業種が低下したことによる。なお上昇した業種は、電気機械工業、窯業・土石製品工業、鉄鋼業等の7業種となった。在庫指数は103.9と前月比1.7%の低下となり、2カ月ぶりの低下となった。これは13業種中、化学工業、汎用・生産用・業務用機械工業、プラスチック製品工業等7業種が低下したことによる。なお上昇した業種は、電気機械工業、金属製品工業等5業種となった。

令和7年6月の有効求人倍率は1.50倍となり、前月比0.02ポイントの上昇となった。新規求人数は7,807人と前年同月比6.9%増と、2カ月連続の上昇となった。主要産業別にみると、卸売業・小売業、金融業・保険業で増加し、製造業が低下した。雇用情勢は、求人が求職を上回って推移しており、持ち直しの動きがみられるが、物価上昇等が雇用に与える影響に引き続き注意する必要がある。

令和7年6月の富山市消費者物価指数は、総合で112.4となり前月比0.1%の低下となった。これは、前月比で「諸雑費」等は上昇したものの、「食料」等が低下したことによる。また前年同月比では、「食料」等が上昇したことにより3.2%の上昇となった。

石川県内の景況について

石川県鉱工業指数をみると、令和7年6月の生産指数は102.1と前月比11.3%低下と、2カ月ぶりの低下となった。これは、汎用・生産用・業務用機械工業、化学工業等が低下したことによる。出荷指数は100.6と前月比10.3%の低下で、こちらも2カ月ぶりの低下となった。また在庫指数は101.5で前月比6.8%上昇し、こちらは3カ月連続の上昇となった。

令和7年6月の有効求人倍率は1.62倍で、前月比0.03ポイントの低下となった。また新規求人倍率は2.65倍で、こちらは前月比0.07ポイントの上昇となった。主要産業別にみると、製造業、情報通信業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、教育・学習支援業等が上昇。一方、建設業、宿泊業、飲食サービス業、サービス業は低下した。雇用情勢は、持ち直しの動きが続いているものの、一部注意を要する状態にある。

令和7年6月の金沢市消費者物価指数は、総合で112.0となり前月比変わらず。これは、「住居」が上昇し、「食料」、「光熱・水道」等が低下したことによる。また前年同月比では、「食料」、「交通・通信」、「住居」等が上昇し、3.4%の上昇となった。

※ 上記は、令和7年6月時点での経済活動である。

主要経済動向指標（北陸地方3県の比較）

項目・ 年度区分 県別			鉱工業生産動向指数(季節調整済) [令和2年=100] ※石川は令和6年8月分より令和2年基準								
			生産			出荷			在庫		
			新潟	富山	石川	新潟	富山	石川	新潟	富山	石川
令和六年度	II	7月	r 99.7	r 101.6	r 105.4	r 102.3	-	r 101.1	r 94.4	r 100.6	r 92.1
		8月	r 99.6	r 97.1	r 96.2	r 98.9	-	r 96.5	r 94.9	r 100.5	r 85.0
		9月	r 99.8	r 99.1	r 102.8	97.2	-	r 99.9	r 95.9	r 100.5	r 86.0
	III	10月	r 98.4	r 96.6	r 114.5	r 97.8	-	r 114.0	r 95.0	r 101.4	r 83.5
		11月	r 95.6	r 100.3	r 102.4	r 94.2	-	r 100.9	r 95.4	r 102.9	r 76.5
		12月	r 97.0	r 97.5	r 106.1	r 97.4	-	r 101.3	r 96.0	r 103.2	r 80.0
	IV	1月	r 98.3	r 98.7	r 106.4	r 96.5	-	r 103.1	r 97.0	r 103.4	r 87.6
		2月	r 93.3	r 98.5	r 102.2	r 96.4	-	r 95.8	94.3	r 100.7	102.7
		3月	r 98.9	r 96.4	r 100.9	r 97.9	-	r 97.1	r 93.6	r 101.8	r 82.4
令和七年度	I	4月	97.6	99.9	99.3	97.9	-	96.4	92.0	103.7	85.5
		5月	99.2	99.2	115.1	99.5	-	112.1	90.3	105.7	95.0
		6月	98.6	97.3	102.1	99.1	-	100.6	87.9	103.9	101.5
資料出所			県統計課								

項目・ 年度区分 県別			有効求人倍率			消費者物価指数		
			(季節調整済)			※[2020年=100]		
			新潟	富山	石川	新潟(市)	富山(市)	金沢(市)
令和六年度	II	7月	1.43	1.39	1.48	107.6	109.5	109.0
		8月	1.45	1.38	1.50	107.8	109.7	109.4
		9月	1.46	1.38	1.52	107.7	109.0	109.0
	III	10月	1.48	1.38	1.56	108.6	109.8	109.6
		11月	1.47	1.38	1.55	108.6	110.4	110.2
		12月	1.48	1.38	1.57	109.5	111.0	110.8
	IV	1月	1.47	1.39	1.60	110.4	111.9	111.3
		2月	1.45	1.40	1.62	110.1	111.5	111.2
		3月	1.44	1.43	1.68	110.1	111.8	111.7
令和七年度	I	4月	1.50	1.44	1.66	110.8	112.1	112.1
		5月	1.43	1.48	1.65	110.9	112.5	112.0
		6月	1.41	1.50	1.62	110.5	112.4	112.0
資料出所			労働局職業安定課			県統計課		

(注) • Pは速報値を示し、rは修正値を示す。
 • 各指標は速報値を含み年度修正が行われるため、先の公表分と異なる場合がある。